

学園だより 太 白 山

(令和6年度 第4号)

宮城県さわらび学園

〒982-0215

仙台市太白区旗立二丁目4番1号

TEL : 022-245-0333

FAX : 022-245-0515

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sawarabi/>

学園ホームページもご覧ください

『つながりのチカラ』

園長 田中 佳二

令和6年度も残りわずか。学園の日常やさまざまな活動、行事を振り返ると『つながりのチカラ』を感じた場面がたくさんありました。東北・北海道地区の野球大会、そして群馬県で行われた全国大会、野外活動、FAS カップ(南東北三県交流会)、園内で行われた学園祭や寮長杯(各寮長主催のイベント)、子ども会活動(レクリエーションなど)、そして、近隣幼稚園でのボランティア活動などなど、子ども達と職員がつながり合って取り組んださまざまな時間がありました。日常の中にも、何気ない生活場面での会話や、子ども同士のトラブルとその後の解決プロセスを通してなど、全ての場面が子ども、職員それぞれの感情や思考を、ある時は揺さぶり、ある時は達成感や所属感の実感につながりました。

「支援する側、される側」といった一方向ではなく、双方向に影響し合うつながり合いの中で、互いが育ち合えたことを、みんなが実感できた1年であってくれたら、学園生活を共にすることに意味が生まれ、それを体感し、そしてつながりの濃度が深まり、結果、子ども・職員それぞれのチカラになっていくのだと思います。今日も明日も、そんなつながりを大事に、大事にしていきたいと思っています。



『美しい季節』

旗立分教室 教頭 阿部 博朗

年齢を重ねてきたためか目覚めの時刻がとて早くなりました。前日にお酒をいただいたとしても、翌日、ほぼ同じ時間に目覚めます。せっかくなので時間を有効に使おうと思い、早朝の散歩を日課にしています。散歩のときはルールを決め、「今日1日穏やかにします、心広くみんなに接します…」しばらくの時間、歩きながら心の中でブツブツ唱え続けて自分に言い聞かせます。途中にある神社に立ち寄り手を合わせ、1日の安全をお願いします。こだわりが強い性格のため、毎日決まった時間に決まった場所を歩き、決まった行動を心掛けますが、天候不順で散歩ができない朝は心が少し乱れます。散歩コースの終盤に直線コースがあり、その場所のはるか遠方に太白山を拝むことができます。早朝の雄大な太白山を見るたび、児童生徒の顔を思い浮かべ、今日も1日、明るくみんなを迎えようと心に決めます。

分教室に勤務して3度目の3月を迎えました。卒業生の皆さん、保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。そして、学園を旅立つ皆さん、退園おめでとうございます。

別れがあるから	人の世は美しい
出会いがあるから	人の世はすばらしい

大好きな言葉です。人間は生きていく中で、多くの<別れ>と<出会い>を経験します。慣れてきた生活や変化のない生活はとてラクですが、いつまでも過去にこだわり、現状に甘えていては成長は望めません。つらい別れを乗り越え、勇気を出して一歩前に踏み出し、新たに出会った人との関係づくりを大切にしていくことで、成長する喜びを味わうことができるのです。別れは悲しく、不安な気持ちが高まってしまうものですが、私は、春の別れと出会いをかけがえのない、自分が成長できる機会ととらえることにしています。

明日も明後日も、1年後も10年後も太白山を見るたびにさわらび学園・分教室のことを考えます。これからも児童生徒の皆さんを見守っています。

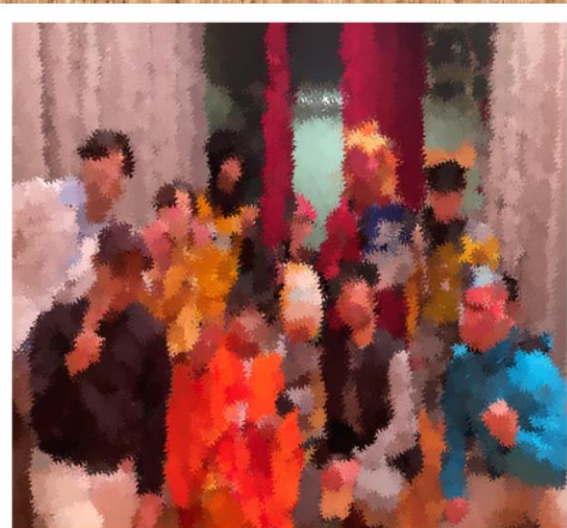


☆冬の学園行事☆

🎅クリスマス会

12月17日、毎年恒例であるクリスマス会を今年度も実施しました。

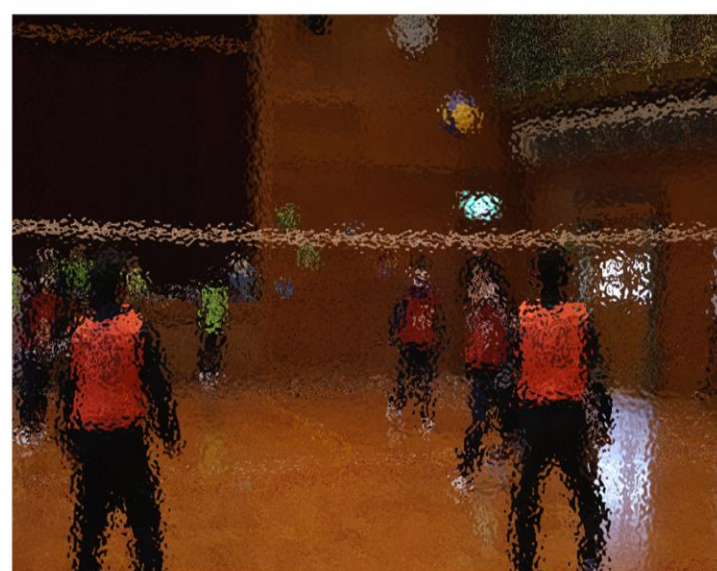
各寮から、劇の出し物があり児童も職員もステージ上でとても輝いていました。職員も子ども達と一緒に頑張って全力で演じている姿を見せる事で、子ども達も恥ずかしがることなく練習の成果を発揮できていたように感じています。



新春スポーツ大会

1月20日、新春スポーツ大会を実施しました！！

3チームに分かれてバレー、長縄、綱引きをして児童職員共に汗を流しながら行事を楽しむことができました。今回はチームの順位だけではなく、個人賞の授与も行っており、普段スポーツに対して苦手意識を持つ女子寮の子ども達も頑張りを見せ MVP 賞を受賞されました。普段スポーツの場面で活躍する機械がない児童にもスポットライトが当たり、非常に良い行事となりました。



卒業式

2月21日、さわらび学園では卒業式を実施しました。
卒業式の皆さんとの御卒業おめでとうございます。今年の卒業式は、保護者の皆さんや多くの御来賓に祝福して頂きながら無事に実施することができ、子ども達にとっても忘れられない卒業式となりました。



☆各係から☆

『学習と生活』

学習係 主事 小池 裕也

さわらび学園で取り組まれている「スポーツ活動」に並び大きな役割を担っているのが「学習」である。児童たちのほとんどが学習に苦手意識があり、その理由は、学校での学習の躓きである。ある児童に聞いてみると「授業中は意味わからないから嫌い、外国にいる気分だから行く意味ない。」などと話している。学校で先生が言っていることが分からず取り残され、分からなくても聞くことができず、他の生徒との差がどんどんできてしまっているのだ。そんな児童たちが日課で最も嫌いなことは「自習時間」である。自分自身で課題を考えそれに対して考えるという、児童からすると地獄の時間かもしれない。

さわらび学園の学習での大きな取り組みの中に漢字検定がある。今年度では、準2級(高校在学レベル)の合格者も出ている。このように目標があることで頑張ることができ、最後までやり抜こうとする力が高いとも言える。そして、この経験から自己肯定感や自己有用感が高まり学習にも前向きになっている。そのため、漢字検定を軸に旗立分教室と連携し学力向上を目指している。

目標をしっかり立て、頑張ることができれば、思考力、判断力、想像力、忍耐力の向上につながると思う。今後も学習を軸に点数だけにこだわらず、学習に向かう力や姿勢を大切にしていきたい。



【よく分からない】



【やりたいけど分からない】



【こうやればいいのか】

『令和6年度の子ども会行事について』

子ども会係 技師 佐藤 光平

令和6年度も残りわずかとなりましたが、今年度の子ども会行事は非常に充実していたと感じています。新型コロナウイルスも5類に移行し、当園の感染症対策も緩和し、行事についても、充実させることができました。従来の行事に加え、今年度は子ども会役員の児童らが企画した「寮長杯」、児童相談所の担当ケースワーカーや心理師を呼んで行った「秋の運動会」などの新たな行事を企画しました。

児童らにアンケート調査を行ったところ、反響だった行事は「登山」でした。ゴールデンウィークに泉ヶ岳の山頂を目指し、児童・職員で登山を行いました。当日は快晴で、登りやすい気候でしたが、傾斜がきつく、大人でも大変な道のりでしたが、一人の脱落者も出さず下山までできました。日ごろのスポーツ活動の成果が垣間見れた行事でした！

来年度の行事も構想段階ではありますが、新しい行事も検討中です。子ども会行事からさわらび学園を盛り上げ、それが子どもの生活の質の向上につながるように努めていきます。



「作業活動について」

作業係 技師 夏谷 朔

児童自立支援施設の作業活動は、敷地内の環境整備から畑や花壇の手入れ、悪天候時や冬季には切り絵や裁縫といった活動をしています。これらの活動は、協働して仕事を達成する喜びを得つつ、協調性や社会性を培う時間です。学校の授業や部活とは異なる活動なので、ほとんどの児童は、苦手意識や不慣れさから最初は苦戦します。ただ、収穫した野菜でピザを焼いたり、木工作業でベンチやスノコを作っているうちに、少しずつ実りある楽しい時間であると感じることが出来ます。大切なのは、子どもと一緒に大人も汗を流して作業することであると考えていて、今後も創意工夫ある作業活動を実践していきたいです。



パイロットクラブ様から クリスマスプレゼントをいただきました！！

令和6年12月24日（火）、パイロットクラブ様から、クリスマスプレゼントとしてブランケットとクリスマスカードを頂きました。子ども達も大変喜んでおり使わせて頂いております。
改めて、感謝申し上げます。



東北アイスクリーム協会様、江崎グリコ株式会社様から アイスクリームのプレゼントをいただきました！！

令和6年11月1日（金）、「アイスクリームの日」として、東北アイスクリーム協会様、江崎グリコ株式会社様から、アイスクリームのプレゼントをいただきました。児童たちに配布すると美味しそうに食べていました。改めて、感謝申し上げます。



【編集後記】

気づけば3月となり、今年度ももうすぐ終わりを迎えます。今年度は昨年度よりも行事を増やしましたが、児童たちの生き生きとした様子が伺えました。行事を通して成功体験を積んで欲しいと思っています。

今年度も、さわらび学園をご支援いただき誠にありがとうございました。来年度も、学園ホームページや広報誌を通じて子ども達の学園生活を紹介していきたいと思います。